

会 議 録

1 会議名

令和4年度第7回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ・意見交換会の結果をふまえた新たな自主的審議事項の検討について（公開）

3 開催日時

令和4年8月8日（月）午後6時00分から午後8時30分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、長藤豊（一人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長兼務）、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、大堀建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
 - ・会議録の確認を植木委員に依頼。
- 4 「協議事項」意見交換会の結果をふまえた新たな自主的審議事項の検討について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1 6 地区連絡協議会と板倉区地域協議会との意見交換会開催結果により説明。

本日は、意見交換会で出た意見をふまえて、新たに取り組む自主的審議事項についての検討をお願いします。地域独自の予算については、8月8日本日、総務常任委員会で所管事務調査が行われた。その結果をふまえて、地域協議会会長会議を8月22日に開催する予定になっている。制度の概要案については、本日この後説明する。また、地域活動支援事業を活用してきた団体にも案内して、説明会を行う。いずれにせよ、9月末を目途に板倉区地域協議会として何かしらの事業提案若しくは意見書の提出ができればやっていきたい。

また、本日は春に行った課題についてのアンケート結果と6地区連協との意見交換会をふまえて、新たに取り組むテーマについて話し合っただけですが、すでに取り組んでいるテーマについても、今後どのように審議を進めていくか、各部会で話し合ってもらいたい。

【平井会長】

ただ今、事務局から説明があったが、本日は自主的審議事項として取り組むテーマについて検討する。全体をとおして質問や意見のある方は挙手をお願いします。

【小池地域振興班長】

その前に資料1の開催実績の順番で、筒方地区の記録係の手塚委員から意見交換会の状況について報告をお願いします。

【手塚委員】

7月15日に筒方小学校で、合計18名の方が集まり、いろいろと闊達な意見

を出していただいた。今ほど事務局から話があったとおりの内容だが、板倉区全体に関してそうだと思うが、道路事情、特に山間部に行くとなおさらに道路事情がよくないし、道端の草刈もやっても、見通しが悪く交通事故や防災上の不安もあるので、草刈りが終わったら、行政の方でも見て回ってもらいたいという意見があった。それから、やすらぎ荘の方は3年後にボイラーの入れ替えをする予定ということだが、そうすると多額の経費が掛かるということなので、Jーホールディングスを脱会して、出資者や寄付者を募ったり、クラウドファンディングを活用したほうがいいのではないかとか、ゑしんの里観光公社が組織の核となるので、もっと積極的にやってもらいたいという事として、それから、山部小学校の体育館を利用したクライミング施設、新潟県山岳協会の方で打診しているということだが、避難所にそういう構造物を作っているところがないということで、まだはっきりとした返答はないが今後も市と相談していきたいという話があった。

【山本委員】

豊原地区について報告させていただく。まとめていただいた中にあるとおり。その中で、暮らしと防災に関する意見がたくさん出ていたが、いわゆる民生委員の配置とかそういうものについての意見があった。新興住宅地と昔からある集落の組み合わせということで意見があったりもしたが、新興住宅地はいろいろなところからいろいろな方が集まっているので、従来のこの地域にあるその他の町内のようなかたちでの運営がなかなか難しいという意見が出ていた。役員のなり手、その他もろもろ運営についてになかなか大変だという話が出ていた。

【長藤委員】

寺野地区での意見交換会の様子のお話を。旧寺野小学校に関して、ちょうど今回寺野さくら園が撤退するというので、その寺野小学校を今後どのように利用するかということで、いろいろな方からいろいろな意見が出ていた。その他は、やすらぎ荘の件も出ていたが、私が事前に想定していなかったのが山寺薬師、仏像だけでなく杉自体も文化財になっている関係で、勝手に枝打ちが出ないとか、あるいは以前一部枝打ちした結果お叱りを受けたとかそのような話もあって、実際予算を組んでやるにしても、高所作業車とかが必要なので、簡単にできるようなものではないのでどうしたらいいのかというような話が出ていた。あと

は、暮らし面とか道路、河川という話も出ていたが、道路に関しては寺野地区は市道に関しては市がすぐに対応してくれるので非常に助かっている。問題は県道の方で、特に寺野地区はいろいろと頑張っているにも関わらず、山部地区から寺野地区の方に上がっていく県道の道路の状態がどうにかならないものかといった意見が出ていた。全般見ても、寺野地区では旧寺野小学校の件が多かったが、各地区で旧小学校の跡地利用とかそういった話が出ているので、他の閉校施設と一体化して考えた方がいいのではないかという話がありましたので、旧筒方、旧山部だけでなく、旧宮嶋もそうですし、これから先を考えると、豊原、板倉を一本化した段階まで考えると、この辺が今後の板倉としての考えていかなければいけない義務ではないかと思っている。

【田中委員】

針地区に限ったわけではないが、私は寺野地区と針地区2か所参加させてもらった。両方とも、所長が出席されていたせいか、どうしても行政への要望的なものが多くて、確か打ち合わせの時に、行政が出席されているが、我々地域協議会委員との意見交換を主体に進めましょうと話の中で持っていくという取り組みだったかと思うが、私、2か所とも会長と一緒にだったが、会長の最初の話の中でもそれが出ていないのと、進行役の方もそういうことで行政との意見交換会でないと断りがなかったせいか、やっぱりそっちが主体になってしまって、我々への要望、地域協議会に何を望むかというところが深掘り出来なかった。どうしても身近な問題から意見を出してしまう。行政への要望が主体となってしまったのは少し残念だったと思う。針地区の大きな課題としてあったわけではないが、事務局でまとめていただいた中に網羅されているので、私の方からの報告は以上とする。

【池田委員】

宮島地区の担当をさせてもらった。30日に板倉コミュニティプラザで行った。参加人数が非常に多く、29人で部屋いっぱいになるくらい集まってもらった。3部会の発表を行ったが、先ほど話があったとおり、3部会の報告に対する意見はなかった。意見交換会では活発な意見、いろいろな意見が出た。結局、仰るとおりで、行政の話ばかりで進んでいったようなかたちになった。宮島特有な

のか、産廃問題について非常に意見が活発に出た。そのあと、他のところでも出ていると思うが、道路の維持管理、草刈り等いろいろと非常に悪いという発言があった。悪いというのは、私も業者の草刈りに行ったことがあるが、ちゃんと写真撮って行政の方へあげるようになってきている。これが何で問題として出てきているのか不思議に思った。次に、市道の除雪、狭いところの除雪をもっとしっかりやってくれという意見も出た。それから消火栓の話、消火栓の維持管理がどうなっているのだと、昔は誰でも使うことができたが、今は特定の人以外はできないということである。いろいろな問題があるのではないかと意見も出た。それから、健康福祉に関係するが、防災士の話が出た。私も勉強不足で、防災士が何人いるのか分からないという状況なので今後の課題じゃないかと思う。長藤さんが防災士会の会長ということであるので、長藤さんの方から力を貸してもらえたらと思う。それで、最後に私も思ったのだが、やすらぎ荘と光ヶ原の問題も提起してあったわけだが、全然意見も出なかったので関心がないのかなと感じた次第である。

【下鳥委員】

私の方から、山部地区の意見交換会の補足説明をする。最後の意見交換会として感じたことは、会長、副会長、そして所長、次長、班長と本当にお疲れ様でしたと、感謝する。古澤所長には、所々の質問に適宜答えていただいた。これは、田中委員と逆転の発想かもしれないが、古澤所長の顔が見れて、生の声が聴けてよかったのではないかと私は感じる。それと各町内会長は本当に地元のことを考えてくれていたなという感じがあった。山部地区では総じてこのまとめにあるような話があったわけだが、細かいところでは地元の箕冠山の景観を守り続けたいと、そしてまた旧山部小学校の今後の利活用を真剣にとらえて考えていらっしやると感じた。まだいろいろとあるわけだが、支援事業の廃止にとっても敏感であったように感じる。ここにある意見、提案を全部吸い上げるということは出来ないわけだが、板倉区と地域協議会としては、これから精査して予算獲得に向かわなければいけないとつくづく感じている。それだけ強い責任感を感じた。

【平井会長】

各地区の報告があったが、何か全体で質問があれば挙手をお願いする。

【長藤委員】

これだけいろいろな声が聴けたのだが、前回の意見交換会の際は上がってきた声を各部会でどういった点を話していこうかというところを自分たちで決めた。あと、各部会ではなく全体で進めようと小学校の統合の方を自主的審議として進めることになった。今回の今後の進め方だが、同様なかたちで考えていくということではどうか。

【平井会長】

長藤委員から提案があったが、事務局の方で、資料1を見てもらいたいのだが、分野別に今回は分けてある。地域活動支援事業から始まって、観光、光ヶ原高原となっているわけだが、このような仕分け方にあるわけだが、できれば前回はそういうようなやり方であったが、この大きな5項目によって意見書という風にまとめた方がいいのではないかという一つの意見があるが、その他にはないか。

【小林委員】

健康福祉部会としての意見を述べさせてもらいたい。2地区出させてもらって、部会として資料を提供した面もあって、防災士、民生委員に関する質問、それぞれ町内会長さんからいただいた。我々としては、自主防災組織図のイメージが理解度を深めたのではないかと思っているが、現実的に民生委員とか防災士の活動が、町内会長にしっかり理解をされていない面もある。これは針地区においても民生委員の協議会の会長も出ていたが、やはりそれぞれ防災士会も含めて出た意見を真剣にこれから行政とよく相談されて、集落によって大小はあるが、それぞれ違った課題を持っているし、あるいはまた町内会長の経験もあって、それぞれ前向きにとらえる町内会長もいれば、ネガティブに考える町内会長さんもいらっしゃるのでは、そういった意見は、やはり我々部会としてももう少し課題を整理して、一歩前進するためには、もう一度どんなかたちで提言ができるか検討を進めていきたいと思っている。

【平井会長】

今、提案があったとおり各部会ではテーマを設けて取り組んでいるが、さらに審議してもらって最終的な形にしていただきたい。そして意見書として出してい

ただきたいと、これは各部会の意見書の問題である。それと、今回6地区の意見交換会をやったわけだが、この出てきたものが先ほども話したとおり各分野別の意見ということで大きな題目の中に細かいものが載っているわけだが、この辺について市からはどうしたらいいかということで、皆さんの意見を聞きながらまとめたいと思っている。

【小池地域振興班長】

各分野別に皆さんから意見を出してもらい、これについてはこうというかたちで、一步一步進めてもらいたい。その中で、新たな自主的審議がたくさん出てくるのか、何も出ないのか、1個なのかそれは分からないが、皆さんの話し合いの中で全体でこれは進めていこうということであれば全体でいいと思う。すでに各部会で1つずつテーマがあるので、またそこにもう1つとなると、既存のテーマの方を後回しにするかという話になってしまう、まずは話し合いをしてもらい、全体会で取り組むような形で進めてもらえればと思う。

【平井会長】

ただいま事務局から提案があったとおりで。大きな題目があるわけだが、まず最初に出たのは地域活動支援事業。これは、何回も話したとおりで令和5年度はない。次に観光だが、ここに3つあるわけだがいかがか。

【古川副会長】

自分の考え、想いいろいろあると思うが、今ここに出ている観光に対する意見3つ、あるいはその下光ヶ原高原、あるいはやすらぎ荘、ずいぶん観光にも絡むわけである。その他板倉はいろいろなところがある。私はずっと各団体の取組も見てきたが、どうもその枠を出ないというのがあって、できればその垣根を取っ払っていただいて、各団体、あるいはあしんの里観光公社を呼んで話をしたり、行政も含めてやるとかいろいろな方法はあると思う。どうもその枠を取っ払わないと、大きい輪にならないという感じがする。できれば観光を自主的審議事項にして、新たなことを考えていくということを全体でやればいいのではないかと思う。それも含めて皆さん方から意見を頂戴したいと思うが、個々といってもなかなか広くてやりづらい部分もあると思うので、そこら辺でどんなものかと考える。

【庄山委員】

観光の話が出たが、光ヶ原、やすらぎ荘含めて部会でやってきたが、今言われたようにどこか核になるものを作らないと前に進まないと思っている。やはり核になるものを作って、そこに私が入って行って、どうするこうするというような案を出して、地域独自予算でいけるのかどうか、そういうことができれば一番いいのだが、そういう方向に行かざるを得ないのかなと。あと、山寺薬師、箕冠城址も同じというふうに思っている。あと、旧小学校の活用についてはいろいろ制約があるみたいなので、この辺はその制約を取っ払ってもらえるのかどうか、それは行政の方の判断だと思うが、なんかやるとするとこういう制約がある、縛りがあるというようなことを言っていると何もできないというような状況になるので、そちらの方が優先的に、そういう縛りを取れるのかどうか、思い切って行政ができるのかどうかそれがやはりネックなのかなと思う。

【平井会長】

今話があったとおり、副会長と同じく、大きく捉えてということのようである。まず、観光関係ということ。それから旧小学校の問題については非常に難しい、縛りがあるということはどうかというのがあった。もう一つ分けるとすれば、暮らし防災この辺が合わせてどうかということで、そういうことになれば大きく分けると括りとすれば3つかなと。旧小学校の問題も非常に難しい問題だということではあるが、やはり意見書として出すということは、地域の意見を提案していくということだから、縛りは大きくても地域としてはこういう問題があると意見書として出すべき問題だということであると、観光、小学校、それから暮らしの3つかなと思う。最後の道路河川については、事務局からの説明のとおりである。他に意見はあるか。

【長藤委員】

私も概ね今の3つの分類分けでいいとは思いますが、その中で旧小学校のことを言われたが、ここに関しては閉校した小学校に限らず、市の施設で今使えなくなっているものが他にもあったり、これから使えなくなったりするものがあると思うし、そういうものもひっくるめた形でやっていったらどうかと思う。例えば、北部スポーツセンターも何か問題があったように思うし、それから光ヶ原の高原セ

ンターもとかそういったものも市の所有になっている訳であり、旧小学校に限らず、今使えないもの、これから使えなくなるものをひっくるめてここでは検討していったらどうかと思う。

【平井会長】

長藤委員の意見としては括りは3つでいいと。旧小学校の問題について、市の施設で休館しているものも含めた中で提案、意見として出したらどうかということか。

【植木委員】

やすらぎ荘の問題については意見が出せるところではないと思う。4つの温浴施設が残って、4つのところで、皆さんで考えていくものなのかなと思っていた。意見交換会に出てもやすらぎ荘の話はでないし、皆さんにやすらぎ荘に行ってくださいと言っても全然興味も示さないというのが実感であった。旧小学校の関係は、避難所としてきちんと役に立つかどうかを、この間の村上の洪水があったときにじゃあどこに逃げるんだという時に、きちんと自分が逃げる場所が分かっている方はいないと思う。私も板倉農業環境改善センターに行けばいいのかと息子に言ったらあんな低いところは危ないよと。旧宮嶋小学校、ハザードマップを見たら避難してくださいというのが出ていた。雨の降り方を見て、これは大丈夫だなと家にいたが、そのくらい切羽詰まっていると思う。毎年毎年雨量は増えている。災害が多くなっている。気温も上がっている。こんな時に、せつかく小学校が4つあり、皆さんが安全に行ってすぐ水が飲めるそういう環境、おじいちゃんおばあちゃんが俺どこにいけばいいんだねと言ったら、ここだわねと言える場所をこれから私たち地域協議会委員がきちんと皆さんに示してあげないといけないと思う。もっと密着した時間を使いたいと私は思う。やすらぎ荘の支配人もこの間いらっしゃったが、ある程度自分もやってきたし、市の方も力を貸してくれたけれど、ジリ貧になってきているというのが本音だと思う。地域協議会委員なにやってるんだねとこの間言われた。できればもっと密着した災害の時にはここへ行こうと。民生委員も防災士もきちんと講義を受けてもらったり、研修受けたりしてきちんと一人は置きましょうよ。これだけの年寄りの集落なのだから、町内も年代の高い人ばかりになってきたので、みんなで助け合わないと無理だと思

う。申し訳ないけど、3つに分けるのも賛成だが、避難所のきちんとした明確化、それから防災士、民生委員をきちんとした方をお願いする。でないと、私年取ってどこに行ったらいいか分からなくなるし、歩いていけなければ、誰も助けに来てくれなければ流されるしかないのです、もうちょっと考え方を考えていただければと思う。

【長藤委員】

今、植木委員が仰られたことは、私も防災士として耳が痛い。実は今、市の方から全町内会長及び全防災士を集めて、避難所のマップとかハザードマップの説明をしろというのが何年か前から求められている。ついこの間、防災士会から連絡があったが、板倉区も今年度中にやってくれということで、ハザードマップどころかというのは、それではなくてもいいということなので、とにかく全部を集めてやってくれという話になっている。先ほど話があったように、宮島地区には防災士がいなくてかそういった問題もいろいろあるし、防災士会の板倉支部としては市の要求もあるので必ず今年度はやる予定にしている。皆さんが心配しているところは取っ掛かりを作っていきたいと思っている。民生委員については協力する形で、私は民生委員でもあるのでその辺を今年度は防災士の方としてはそれをつめていくつもりであるし、その辺を頭の隅に置いておいてもらいたい。

【池田委員】

会長が仰った3部門でいいと思う。道路河川の関係だが、地域の方にも道路河川の担当者もいるので、とりあえずそっちの方に全面的に任せて、先ほど言われた3部門に絞った方がいいのではないかと思う。

【小林委員】

防災士の関係だが、この資料には記載されていないが、小さな集落とか一応の目安の基準がある、資格を取得するのに。ところが、防災訓練もできないというような意見もかなりあった。やはり、例えば今の消防団の組織と一緒に、そういった組織の中で防災訓練できないかというような前向きな町内会長の意見もあったので、ぜひ各地区に防災士を置けなんて言っても、それは絶対的に無理な話なので、現実的な話を聞いて検討していただけるように、これは別に長藤さんを責めるわけではないが、ぜひお願いをしたいと思う。それと、先ほど会長が仰った

大項目3つ、いいと思うが、私は観光振興について前々から我々は組織の改革について問題提起をしてきたわけだが、なかなか壁があるハードルが高いということで、これからの板倉区の観光振興を考えた場合、組織の改革は絶対必要だと私は思うが、ただ大きな問題で、どういう風なところに着地点が見えるかどうか分からないが、真剣に取り組んでいけるようによろしくをお願いしたい。

【下鳥委員】

古澤所長に質問がある。真剣に町内会長からこのように意見が出ている。なおかつ、地域協議会もこのように真剣に地域のことを捉えている。やはり、トップ、核になるような人が必要ではないだろうかというような話も出ている。まず1点目、古澤所長として今までの流れでどんなことを感じてきたか。2点目、私的諮問機関を持つことを考えて、区民の意見を吸い上げることは考えているか。その2点教えていただきたい。

【古澤総合事務所長】

まず観光については、私もこの4月に来て、核となるところがなかなかないというのは、いろいろな団体があるが中心となるところがなく、なかなか回っていかないなというのは私も正直思っていて、それについては先ほどの小林委員が仰っていたが、ずっと取り組んでいたけどなかなか前に進まなかったという話も聞いている。総合事務所として、その団体の皆さんとの意見交換をして今進めているところである。その皆さんをいかに、その皆さんだけが例えば4つとか5つあったとして、皆さん何とかお願いしますといってもなかなか前に進まないの、総合事務所が中に入って、総合事務所が皆さんに声掛け、引っ張り込んで、その話を今やっている状況である。なので、地域協議会委員の皆さんが今後またそのような地域協議会としても取り組んでいただければ、総合事務所も同じ考えを持っているので、一緒に進めていければと強く感じている。また、意見の関係だが、改めて6地区に出させていただいて、総合事務所に対するというか市に対する意見というのがやっぱりある。町内会長会議はコロナの関係で開いていないというのがあるが、何かあれば例えば道路の損傷とか草刈りとか、どこどこの要望とかというのがあれば総合事務所に来ていただければお話を伺うという話はしているが、やっぱりそこは待ちの姿勢なので、私としては6地区全部回った

が、6地区であれば今後も総合事務所の取り組みとして、定期的、年最低でも1回とか2回とかそんな感じでいけるなど自分ではすごく感じた。そこで、いろいろな意見を取りに行き、地域の皆さんと話をしながらその地域の課題というのを総合事務所としても理解して、その中で地域協議会の皆さんと連携してやっていくものの中には当然あると思うので、そういうものを共有しながら進めていければなどという思いが、6地区出させていただいた感想ですし、今後そういう手法を取っていきたく、まだ事務所の職員には話をしていないが、今後そんな検討をしていきたく考えている。

【下鳥委員】

所長として、今言った意見を吸い上げるために私的諮問機関を作って、例えば地域協議会3部会の会長、副会長あるいは町内会長の、今言った6地区あるわけなので、連協の会長と一緒に車座になってお話しする気はあるか。

【古澤総合事務所長】

そういう意見交換する場を作らせていただければ、作らせていただいて、それをもとに地域に出向くというような流れが、今までもあったのかもしれないが、総合事務所が入ってきちんとやって、そういうかたちで進めていただければぜひそういう話を進めていきたく私は思っている。

【下鳥委員】

私がなぜこんな話をしたかという、今後そういう連携というものがとても大切になってくる気がする。地区にそれぞれ権限を持たせるんだという風に市長が言っている、その受け方を、語弊があるかもしれないが、そういうものを作っていないとみんな他に予算を持っていかれると思う。そうそう640万円出しますとは絶対言ってこない、要するに削減をしたいのが目的だと私は思うので、それに乗っからないためにもいろいろ考えていかなければいけないのではないかということでこの話をさせていただいた。

【古澤総合事務所長】

今の意見については、貴重なご意見としてできる限り真摯に取り組んでいきたいと考えているし、まさに冒頭でもお話ししましたが、総合事務所というのは地域に一番近い行政機関なので、やはり情報を取りに行くという考えをもって、職

員もみんなそうですが、そういった姿勢や考え方は基本だと思っているのでそういう風に進めたいと思っている。

【庄山委員】

今回の6地区の町内会長との意見交換で感じたのだが、地元の要求が出るのは当然だなと聞いていた。ただ、市の助成事業を分かっているのかなと。例えば防犯灯のLEDについては、コミュニティ助成事業を申請しているがなかなか当たらないと、そういうのは市の助成事業を使って例えば50球を10球ずつでも毎年更新すればいいのではと、そういった考えになるのだが、そういう助成事業があるのを知らないのかというのを感じる。あるいは市道の除雪に関して、除雪機の補助、助成も市の方であるので、そういうのをやっぱり町内会長へ春の段階で50項目から60項目くらい冊子になって配布されているのだが、そういう話をやっぱり町内会長を集めて、こういう助成事業があるのですよということで話をした方がいいのではと思っている。

【古澤総合事務所長】

まさに今仰られたとおりだが、マニュアルは各町内会長へ配布されているのだが、この2、3年コロナの関係で町内会長会議がどうしても開けない状況になっている。そういう状況なので、中には1年で変わられる町内会長もいるという現状を鑑みると、やはりただ冊子を送るだけではなく、もう少し何か周知する方法を考えなければならないのかなと改めて感じたので、またどうしたら伝わるかというのを、コロナの関係もある程度改善され会議等開けるようになればいいのだが、それもまた見ながら進めていきたいと思っている。

【平井会長】

だいたい意見も出尽くしたと思う。3つに集約しようということで、観光と、公共施設学校の問題、暮らし防災、この3つということである。植木委員の方から話があった件については、暮らし防災、こちらの方で包括できるのではないかと考えている。それでいいか。

(異議なし)

では、この3つでまとめたいと思うがどうか。

【田中委員】

3点に集約したいということだが、今後の地域協議会の中ではその3点に絞った場合どういう進め方をしていくということで会長は考えているか。

【平井会長】

大きく3つということで話をさせてもらったが、これについては各々3項目あったり4項目あったり5項目あったりするわけだが、これを皆さんから出てきた意見というように、大事な意見という風にとらえ、これも一つに要約して、まとめて意見書に出したらいいのではないかと思っている。

【田中委員】

意見書として出すのもいいかと思うが、私は観光関係の座長をさせてもらっているが、今後については全体会議の中で部会で取り組んだ結果も報告している。副会長が仰るように、観光関係も部会だけでなく全体の中で取り組んで早急に方向付けをしていかないと切羽詰まっている問題もある。なので、3点に集約するのも結構だが、その中でも例えば絞った中で優先的に観光関係に取り組むというような方向で、1つが終わったら2件目3件目と、こういう進め方をしていくのであればいいのだが、差し迫って切羽詰まっている観光関係、この辺について早急にというか。考えを部会の中を踏まえた中で思っているのだが、優先順位を付けた中で、3点に絞るのは結構だが、その中で優先順位をつけてお願いしたいと思うがいかがか。

【平井会長】

今提案があった優先順位は、やっぱり必要だと思う。各3部会は、これから最後の詰めはあるが、ここである程度詰めて意見書として出すというのが皆さんの意見で決まっているわけだが、これにプラス今言った3つのうちの取組については、優先順位をつけて書いていくというかたちで、今年だけと、これで終わりということではないので、まず優先順位をつけて、今年度ということで、そして次は令和5年度に持ち越すということもあるので、その辺で一つどのようなものか。

【庄山委員】

具体的に優先順位をつけるとしたらどれから始めるのか。

【平井会長】

皆さんの方で、優先順位として3つあると、3つの中でどういう順位で決めると、皆さんで話していただいて、そしてその中で項目、意見書としての内容を作り上げていくというかたちにしたいと思うがどうか。

【庄山委員】

暮らしと防災については、健康福祉部会でさらに詰めてもらって、防災士や民生委員とかそういうのを組織のやり方、作り方というのを詰めていただいて、あと観光と小学校のこと2つになると思う。それをどうするか。

【平井会長】

今提案があったが、観光と小学校の問題ということで話があったが、観光については一部産業建設部会でも検討している、重なっている部分もあるが、両方重なっていてもニュアンス的に違うのであればよしとすればいいのではないかと思う。

【庄山委員】

田中委員が言われたように、観光については全体でリードしていただきたいということに進んでいるので、部会として新たに再度審議という話はないのかなと。

【平井会長】

産業建設部会の方では時間を掛けて鋭意検討されたが、全体の動きもある中で全体として出したらどうかという意見であるがどうか。

【植木委員】

私たちの進む道を教えて欲しい。地域協議会は9月頃までに予算取りのある程度持っていかなければいけないのか。今後どう動けばいいのか。事務系も地域協議会の委員の役員でやってくださいと、そんな文書も入っていた気がするが。どうすればいいのか。あまり深くやってしまうと、あまりにも時間と、これが仕事ではないので、教えてもらいたい。

【古澤総合事務所長】

本日お配りした、この後で説明させてもらおうと思っていたが、地域独自の予算（仮称）の概要があったのだが、これでまた説明させていただきたいと思う。

【平井会長】

後程説明をお願いします。

【小池地域振興班長】

今3つの題目で分けたらどうかという意見の中で、暮らし防災の方は健康福祉部会が取り組んでいるところの延長というところなので、これは今全体で取り組むのではなく、まずはこれから部会を開いていただくので、そちらの方で整理してもらえればいいのではと思っている。

やすらぎ荘の利活用の方策、このテーマについては、何回も提案されている中で今後それについてどう深めていくのかというのは少し難しいのではと事務局でも考えている。部会を開いていただいて、やすらぎ荘単体で市に何か意見書を出すと決まればそれで向かってもいいのだが、今後のテーマの取り扱いについて、一度部会を開いてもらい、これで審議終了とするのであればそれでもいいと思う。これから観光について、やすらぎ荘だけではない、ゑしんの里、光ヶ原含めた、大きな通年で板倉に人が来てくれるための全体的な取り組みを各団体と連携し進めていきたいということであれば、そこに吸収されるというか、やすらぎ荘も含めて考えなければいけないことだと思うので、その辺の今取り組んでいるテーマについては一度部会を開いてもらい、話し合っただけであればと思っている。そうすると、観光と施設の利活用についてということになると思うが、観光のなにがテーマなのか、板倉区の観光についてだととても広いような気がするので、少し時間が掛かると思うので、もう少し話し合いをしてもらい、テーマというものをもう少し具体的に、観光についてでもいいが、もう少し話あい深めてもらえればと思う。

【田中委員】

個人的な意見だが板倉の観光といっても幅が広いし、部会として取り組んできたのはあくまでも光ヶ原の問題、それからやすらぎ荘の問題ということで個別対応で取り組んできた。これについては部会としてはもうこれ以上何回やっても無理だと判断していたので、全体的に板倉の観光ということについて地域協議会としてはどういう取り組みが必要なのかというところをテーマにしてやっていくべきだと思う。

このまとめの中にも出ていたが、やはり板倉の観光の核になる組織はゑしんの

里観光公社だと、失礼だが事務局側でこの会議に参加されている方はいなかったが、前の前の所長のころからゑしんの里観光公社でこの問題については何回も検討している。今日は欠席しているが、産業G長も何回か参加していたので聞いていただければ分かると思うが、私もある組織の絡みで参加させてもらったが、全然進展がないままである。橋本市議も一生懸命取り組んでいただいていたが、なかなか前向きな姿が見えないということで今に至っている。ただ、あくまでも皆さんの思っているように、板倉の観光の核というのはゑしんでしょと。そのために作った組織じゃないかというところでもあるので、今のこの観光の関係については、先ほど事務局から話があったが、もう一回部会を開いてこのまま前の取り組みについて卒業するとか言いましたけど、それは私も報告で前にも言っているように、部会としてもこの先進んでも新しい取り組みが見えてこないという中で、あとは全体の中でやすらぎ荘含めて観光について取り組みを検討していくと、こういう進め方がベターじゃないかなと。しかも、板倉の観光というのは、優先的には地域協議会としても全然バックアップというか、一緒になってやっていかなければいけないテーマだということは、会場でいろいろ6地区の中でも出てきている問題でもあるので、そういう取り組み方が重要だと、私も思っていますし、副会長もそういう意味で先ほど提案されたんだという風に思う。

【米川次長】

田中委員からいただいた意見、小池班長が申し上げたのと相通ずるものだと私は思っている。というのは、やすらぎ荘の利活用についてずっと取り組んできていただいて、いろいろな提言をいただいた中で、小池班長の中では部会として一旦区切りをつけてもらい、今回副会長の方からも話のあった、板倉には様々な地域資源、観光の宝がある、そういったものを連携した中の板倉区の連携した観光について全体の中で考えていったらどうかというご意見であった。それについて、事務局的にも皆さんがそういう方向性で進んでいただければ、先ほど所長が申したように、核となるところをそういったものを事務所も一緒になって見出していかなければいけないことも認識しているし、そういった意味では行政も、地域協議会も、各種観光団体も一緒になって板倉区を盛り上げていきたい

という部分は相通ずる部分であるし、地域協議会の今後の取り組むテーマとして適切なものかなど、私は今いろいろなお話をお聞きし感じたところである。

【小池地域振興班長】

私は今田中委員のお話を聞いて良く分かったのだが、やすらぎ荘のテーマ、利活用についてというのは、産業建設部会の皆さんがこれで審議終了だということをもう一回集まって決めてもらった方がいいのではないかとということで先ほど申し上げたが、そこまでしなくてもこの場でもっと広い板倉区の各団体が連携した観光についてというようなテーマが決まれば、やすらぎ荘のテーマは審議終了としていいと部会の皆さんで思われているということではないか。上越市のHPでは板倉区のテーマは3つ出ている。ここでまた2つそこに加わるとしたら5つになる。それはそのままで行くのか、やすらぎ荘のテーマを取り下げるのかその辺を協議して決めてもらいたいと思ってお話をさせてもらった。

【田中委員】

皆さんに確認していないが、今のその取り組みで結構だと思う。やすらぎ荘について部会として取り組んできたものについては打ち切りということで、板倉区の全体の観光についてという取り組みにテーマを絞って全体で取り組んでいくべきだと、部会の中でも考えていると思う。そういうことでお願いしたい。

【小林委員】

先ほどから皆さんは観光の核となる組織について話しをされていた。これについては、そう簡単に解決できる問題ではないと思う。地域協議会がここで話合ったとしても、方向性を出したとしても現実的に難しい問題だ。行政側も団体と話をしているということなので、何が壁になっているのか、何が問題になっているのか、勉強会的な要素を含めて別にやった方がよいのではないかと思うがどうか。

【下鳥委員】

小林委員の意見に賛成である。この話をしていると、いつもグルグル回っているような気がする。だから私は先ほど諮問機関と言ったが、どんどん前に進むべきである。そうすれば、自然と核となるものが見えてくるのでは。なるべく早めに進めてもらいたい。

【古澤総合事務所長】

私も勉強会について考えている。今、総合事務所が中に入って関係団体で話をしているが、その内容を全て公開できるわけではないが、地域協議会と団体の皆様が意見交換できる場を作りたいと思っている。今現状がこうで、この現状に対してこうしたいと思っているというところを、一つ一つ前に進めていかないとやっぱりだめだったということになる。私としては、情報共有して一歩ずつ前に進むような体制を進めていきたい。

【下鳥委員】

スピード感をもって欲しい。

【平井会長】

やすらぎ荘の問題については審議終了としてよいか。

(反対意見なし)

では、そのようにする。

【小池地域振興班長】

今後、ゑしんの里観光公社に来てもらい、どのようなことをしているかなど勉強会形式でやることはできる。では、自主的審議のテーマを正式に決めてほしい。

【平井会長】

何か意見はないか。

【庄山委員】

「板倉の観光を考える」でどうか。

【平井会長】

他にないか。

【下鳥委員】

「板倉区の観光を考える～現在・過去・未来～」はどうか。

【植木委員】

新しく部会の編成は行うのか。そのまま引き継ぐのか。

【平井会長】

メンバーはそのままである。

【小林委員】

今までの歴史的な経緯はいいとして、新たな道を拓くためのキャッチコピーがいいと思う。新たな観光振興、道を拓くようなものがよい。

【平井会長】

新しいテーマは「板倉区の未来を拓く観光について」でよいか。

(反対意見なし)

では、そのようにする。

【小池地域振興班長】

今後の進め方について決めていただきたい。ゑしんの里観光公社に来ていただいて勉強会をするのはどうか。

【平井会長】

事務局から提案があったが、ゑしんの里観光公社に来ていただいて勉強会をするのはどうか。

(反対意見なし)

では、そのようにする。

【小林委員】

来ていただくのはよいと思うが、今までの課題や検討状況などを情報共有した上で何が問題なのか意思統一をしてから来ていただくのはどうか。

【古澤総合事務所所長】

過去の取組については引継で確認している。現在のことを申し上げますと、今も課題をいただいている。皆さんにお示しできる内容については、明後日、団体を話し合いをする予定なので検討する。

【田中委員】

これから説明する地域独自の予算は期限が迫っているが、時間的に大丈夫か。

【古澤総合事務所所長】

早めに越したことはないが、地域独自の予算の概要案については、これから説明するが総合事務所が予算を作ることになっている。その内容については地域協議会の皆さんにも説明し認識していただくことになっている。一度団体が来られる前に事務局の方で課題認識を取りまとめて、事前にお送りして勉強会に臨むの

が望ましいということであれば、そうさせていただく。

【庄山委員】

ゑしんの里観光公社の話聞くのはいいと思う。私にすれば、やすらぎ荘、光ヶ原高原ファン倶楽部、まちづくり振興会4者を呼んで、一堂に会して、何が問題なのか、なぜ一つになれないのかを聞きたい。

【古澤総合事務所所長】

今の現状を申し上げますと、板倉区の観光振興と地域振興をふまえて、関係団体の皆さんと話をしている状況である。そういった取組を進めているので、地域協議会の皆さんが今の状況を聞きたいということであれば、団体の皆さんが了解していただけるのであれば意見交換できると思う。

【庄山委員】

観光と地域振興は表裏一体なので地域振興を含めて話をした方がよいと思う。

【古澤総合事務所所長】

今の取組内容も含めて、この件については、事務局と会長、副会長とまた相談させていただいて進める形でよいか。

【平井会長】

では、そうすることにする。

【米川次長】

今までお話しいただいた中で3つのテーマに取り組む、観光、暮らしの方では今ある部会の取組を拡充していく方向になるのか。それから公の施設の適正配置によって廃校とかそういうものについても検討していきたいと。その3つに優先順位をつけてということであった。まずは「板倉区の未来を拓く観光について」を一つ目の審議として取り組んでいく。あとの2つはテーマとしては載せておくということによろしいか。

【平井会長】

今ほど話があったが、観光が一つ。あとの二つについては後ということによろしいか。順序はどうするか。

(意見なし)

【小池地域振興班長】

施設の活用についてのテーマは今日決めないのか。今日決めるのであれば決めていただきたい。例えば「廃校の利活用」であるとか、校舎だけでなければ他のテーマを設定してほしい。

【平井会長】

テーマを決めたいが意見はないか。

【庄山委員】

良く知らないのだが、学校施設と一般の施設と取り扱いが違うのではないか。一緒に審議できるのか。

【平井会長】

先ほど長藤委員から意見があったように、廃校以外でも市の施設があるということだが、事務局これについてどうか。

【小池地域振興班長】

旧筒方小学校と旧寺野小学校は普通財産、旧宮嶋小学校と旧山部小学校は教育財産である。取扱いは違うがひっくるめて話をすることはできる。その辺のテーマを大きくするのか、整理するのは皆さんで決めていただきたい。

【平井会長】

他に意見はないか。

【田中委員】

ひっくるめて審議するのが難しいのか、大丈夫なのかどちらだ。

【小池地域振興班長】

難しいと思う。

【田中委員】

そういうのを聞きたいのである。そうであれば切り離して考えないと複雑になりすぎて難しいと思う。我々としては絞った方がいいと思う。

【平井会長】

他に意見はないか。

【植木委員】

教えていただきたいのだが、豊原校区の避難所は豊原小学校か。

【庄山委員】

豊原小学校である。

【秋山委員】

稲増の方では、地震だけ北部スポーツセンターである。あそこは以前水害にあっているの、地震のみの避難所である。町内会によって住んでいる状況が違うから、他の町内のことは言えない。避難所については地元の要望を聞かないといけない。

【植木委員】

廃校についての自主的審議については、目的が避難所なのか利活用なのか、どちらかに決めてから相談した方がよい。

【庄山委員】

普通財産と教育財産に分けて協議したらどうか。普通財産が入ると窓口が広がる。

【植木委員】

建物は年数が経てばある程度のことは、手続きについて役所の方でどうかならないのか。

【米川次長】

今までいろいろ審議していただき、普通財産、教育財産、いろいろあるが、財産処分のことは置いておいて、学校として廃校になったものが4つあるわけだから、そういったものをどういったものに活用していったらよいのか。そこを自主的審議していただいたらどうか。

【秋山委員】

学校については地域によって要望が違ってくる。旧山部小学校の利活用について県の山岳協会から要望があると聞いたが、地域によってどのような要望があるのか、アンケートなどを行って情報を得ないといけない。それを精査して方向を見出していくべきである。

【米川次長】

旧小学校においては地域の声を大事にしなければならないと思う。しかし状況はそれぞれ違う。旧宮嶋小学校と旧山部小学校については、まだ閉校して1年ちょっとである。旧寺野小学校については、今年の7月でてらの桜園が撤退したこ

とにより、グループホームの設備は整っている。旧筒方小学校については、地域の方々が加工施設として使っていただいている。そういった状況の中で、地域の方がどうしていききたいのか意見を集めることについては、地域協議会でそういった取組をしたいということになれば、していけばよいと思う。公共施設の適正配置によって廃止された施設となると、体育施設や保育園などいろいろ出てきてしまうので、ある程度ポイントを絞るということであれば、廃校の利活用ということで審議していただけたらどうかと思う。

【平井会長】

いろいろな意見が出たが、どのようにしたらよいか。

【庄山委員】

地元の要望を聞いても、その通りにならなかつたらどうするのか。現状は市として地元の要望を最大限聞くというふうになっているのか。

【米川次長】

地域からの要望は真摯に受け止めなければならないが、要望があったからといって、全部そのとおりにできるわけではないのは申し訳ないが事実である。予算的なものもあるし、内容も検討していかなければならない。

【庄山委員】

我々はそこを考えて取り組まなければならない。地域の人たちから要望を聞いても実現しなかつたら地域協議会に対して反発が起きるのではないのか。

【平井会長】

我々としては、今回6地区で意見交換を行ったのだから、それを元に何らかの自主的審議を行って意見書等出すというのはどうか。

【小池地域振興班長】

各地区の意見交換会で旧小学校の活用についていろいろ意見はいただいた。例えば寺野地区では旧寺野小学校については具体的な活用の意見があったが、山部地区では旧山部小学校の具体的な活用希望はなかった。筒方地区では、「旧山部小学校でクライミングができるようにしてほしい」という要望が出たが、旧筒方小学校については漏水を修理してもらいたいというだけで新たな活用希望はなかった。

【庄山委員】

筒方地区の人は希望を出してもだめだと思っているのではないか。

【秋山委員】

意見交換会に出席していたのは主に町内会長だったので、他の人で意見がある人がいるのではないか。そういった人たちの声も聞かなければならない。

【小池地域振興班長】

本日、「廃校の利活用について」というテーマ決めていただければ、また、どのように審議を進めていくか、地区に入ってアンケートを取るのか、今回のように町内会長だけではなくて、いろんな方に集まっていただき意見交換を行うのか。審議の進め方については、これからの議論である。まず、そういうテーマで取り組むのか決めていただきたい。

【平井会長】

今、事務局から提案があったが、「廃校の利活用と維持管理について」自主的審議のテーマとしたらどうか。我々で審議し意見を2つ3つ市の方に出して、そしてまたそれについて回答を貰ったりしながら、少しずつ次のステップに向かっていけばよいのではないか。

【庄山委員】

旧小学校についてだけ取り組むのか。

【平井会長】

旧小学校だけでどうか。長藤委員は市の施設についてということで広くしたらどうかという意見であったが、地区の意見交換会ではそのような話はなかった。大きく出たのは小学校の問題だった。

(反対意見なし)

では、そのようにする。先ほど話があったが、観光の窓口であるゑしんの里観光公社を呼んで勉強会をやることにしたい。事務局の方で連絡をとってほしい。

それから、各部会でもう一回自主的審議事項についての確認もしてもらいたい。

次に「その他」事務局から何かないか。

【古澤総合事務所長】

本日お配りした資料について説明する。本日、総務常任委員会で所管事務調査が開かれ午後1時半から始まって夕方5時15分まで異例の長さで開かれた。内容としては（仮称）地域独自予算の概要（案）についてであった。これについてはまだ案の段階ではあるが、日中、所管事務調査が行われたので、情報としては皆さんに公開できるようになっている。所管事務調査でもかなりの意見が出たので内容としては、もしかしたら変わっていくかもしれないが聞いていただきたい。この制度については、当初は今年度は難しいと考えていたが、令和5年度予算への反映がある程度見込める状況になってきたことから、所管事務調査を行った。内容については8月22日に開催される地域協議会会長会議でも説明され意見をいただくことになっている。今日の所管事務調査で出た意見や、会長会議で出た意見、また地域協議会の皆さんから出た意見をふまえて、もう一度所管事務調査を行う予定として所管事務調査を終えたところである。

・資料（仮称）地域独自の予算の概要案について説明

【平井会長】

今ほど、所長から説明があったが、この件について質問、意見のある委員の挙手を求める。まだ完全なものではないが。

【庄山委員】

できれば、あまり変更しないで、このまま前に進めてもらいたい。

【平井会長】

他にないか。

【田中委員】

3ページにイメージ図があるが、その左側に9月末でまとまった場合はとある。時間がない。先般、副市長の話聞いたが、9月までではなくても大丈夫か。

【古澤総合事務所長】

9月末までにまとまったものがあれば出していただくことになるが、例えば副市長が申し上げたように、補正予算対応についても検討に出てくるかもしれない。地域活動支援事業が今年度で廃止されるので、継続していくため、空白期間を生じさせないように、ある程度早めに予算の仕組みを作ったところである。

例えば、先ほどの観光の自主的審議の中で活用できる取組があればあげていただきたい。そのようなイメージである。

【平井会長】

この件については以上とする。他にないか。

【小池地域振興班長】

明日、まちづくり意見交換会が開催されるので、ぜひ皆さんから参加をお願いしたい。

【平井会長】

- ・ 次回の地域協議会の日程について確認
- 他にないか。

【市村教育・文化G長】

越後くびきの100キロマラソンの板倉区運営ボランティアの協力についてお願いしたい。10月9日（日）に越後くびきの100キロマラソンが6年ぶりに開催される。現在、越後くびきの100キロマラソンの板倉区の運営を支援していただくボランティアの協力について、板倉区内の関係団体の皆さんに依頼させていただいている。板倉区内の給水所、レストといわれる休憩所、エイドといわれる飲食所、ランナーの安全確保のためには210人程度のボランティアが必要となり、ボランティアが集まらなると運営が厳しい状況になる。100キロの部のランナー約1,330人が板倉区を通過される。ランナーが安全に楽しく気持ちよく走っていただけるよう、応援やおもてなしをしたいと思っている。ボランティアとして協力していただきたい時間は大会当日10月9日（日）午前5時30分から正午を予定している。地域協議会委員の皆さん、ご家族、ご近所の皆さんでボランティアにご協力いただける方がいらっしゃったら教育・文化グループの方に8月26日（金）までにお知らせいただきたい。役割分担については9月下旬に開催予定の説明会でお話する。不明な点は教育・文化グループにお問合せいただきたい。

【平井会長】

他にないか。

【小林委員】

質問がある。光ヶ原高原ファン倶楽部の入会のお願い文書が町内会長を通じて全

戸に配布された。1口1,000円で上限なしである。入会は自由。それが、まちづくり振興会と光ヶ原高原ファン倶楽部連名で出されたということで、任意なので集まらないと思うが。その文書の中では、目的や予算の使い道について書いてない。ちょっと不可解な内容である。これについて事前に総合事務所に相談はあったのか。

【古澤総合事務所長】

文書を出すにあたって、まちづくり振興会から町内会長便に入れるための連絡があった。内容についてではなく、発送のための確認であった。

【小林委員】

光ヶ原高原ファン倶楽部だけではなく、まちづくり振興会の名前があったので、会費の二重取りではないかという、住民からの質問があった。私としては何と云ってみようもなかった。

【古澤総合事務所長】

まちづくり振興会に情報提供をさせていただき、お話を伺う。

【植木委員】

マラソンのボランティアは当日だけでよいのか。

【市村教育・文化G長】

当日だけでよい。

【平井会長】

その他について以上とする。

【古川副会長】

・挨拶

【米川次長】

以上で、第7回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-78-2141 (内線123)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。